

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		25	幹線道路整備事業	部・課	土木部 道路河川整備課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-① 交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。		
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
総合戦略との関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	都市計画道路の整備を進める。		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	都市計画道路では、枚方藤阪線、御殿山小倉線、牧野長尾線及び中振交野線の整備を計画的に進める。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	都市計画道路については、牧野長尾線、中振交野線及び御殿山小倉線等の整備を計画的に進める。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	交通渋滞を緩和するとともに、安全な交通環境確保するため、市域中心部と東部地域を結ぶ枚方藤阪線や市域北部の東西幹線道路である牧野長尾線のほか、御殿山駅と小倉東町地区を結ぶ御殿山小倉線等の整備を進める。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		○枚方藤阪線:用地交渉、道路整備工事(岡東町地区の一部) ○牧野長尾線:事業認可取得、用地再取得(公社)、道路整備工事、JR片町線立体交差部の工事協定締結(JR西日本) ○御殿山小倉線:事業認可取得、用地交渉 ○中振交野線:事業認可取得、用地再取得(公社) ○責谷川沿い道路:地形測量、路線測量、予備設計
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①枚方藤阪線の用地交渉 ②牧野長尾線の用地交渉、用地再取得(公社)、道路整備工事、JR学研都市線立体交差部工事(JR施工)、詳細設計 ③御殿山小倉線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ④中振交野線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ⑤責谷川沿い道路の都市計画決定
	実績(評価)	①枚方藤阪線の用地交渉 ②牧野長尾線の用地交渉、道路整備工事、JR学研都市線立体交差部工事(JR施工)、詳細設計 ③御殿山小倉線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ④中振交野線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ⑤責谷川沿い道路の都市計画決定(都市計画道路長尾杉線)
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①②③④→推進 ⑤長尾杉線の詳細設計、用地先行取得、用地再取得(公社)
	実績(評価)	①枚方藤阪線の用地交渉 ②牧野長尾線の用地交渉、道路整備工事、JR学研都市線立体交差部工事(JR施工)、詳細設計 ③御殿山小倉線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ④中振交野線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ⑤長尾杉線の詳細設計、用地測量
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	①枚方藤阪線の用地再取得(公社)、道路整備工事、供用開始 ②④→推進 ③御殿山小倉線の道路整備工事、供用開始 ⑤責谷川沿い道路の用地先行取得、用地再取得(公社)
	実績(評価)	①枚方藤阪線の用地交渉 ②牧野長尾線の用地交渉、道路整備工事、JR学研都市線立体交差部工事(JR施工) ③御殿山小倉線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ④中振交野線の用地再取得(公社)、道路整備工事 ⑤長尾杉線の用地測量

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	②④⑤→推進	
	実績（評価）	①枚方藤阪線の用地交渉 ②牧野長尾線の用地交渉、道路整備工事、JR学研都市線立体交差部工事（JR施工） ③御殿山小倉線の用地再取得（公社）、道路整備工事 ④中振交野線の用地再取得（公社）、道路整備工事 ⑤長尾杉線の詳細設計、用地測量、用地交渉	
備考			
課題・今後の対応		・事業の計画的な実施 ・国庫補助金などの財源の確保 ・地元や関係機関との協議、合意形成	
達成状況（実行計画）		○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
幹線道路の整備率		○		60.6	60.6	60.6	60.6	60.2	60.2	64.1	%	
指標の説明				・指標である幹線道路の整備率は供用開始を行った道路延長に基づき算定しており、各年度の整備率としては上がっていないが、各路線において用地取得や道路整備工事（未供用）、設計検討等を着実に進めた。しかしながら、都市計画事業認可路線が新たに追加され計画延長距離が延びたことから「幹線道路の整備率」が下がる結果となった。							当初目標値	達成年度
国道、府道を含む幹線道路の整備延長距離／計画延長距離												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
幹線道路の整備率		○		60.6	60.6	60.6	60.6	60.2	60.2	64.1	%	
指標の説明				・指標である幹線道路の整備率は供用開始を行った道路延長に基づき算定しており、各年度の整備率としては上がっていないが、各路線において用地取得や道路整備工事（未供用）、設計検討等を着実に進めた。しかしながら、都市計画事業認可路線が新たに追加され計画延長距離が延びたことから「幹線道路の整備率」が下がる結果となった。							当初目標値	達成年度
国道、府道を含む幹線道路の整備延長距離／計画延長距離												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
幹線道路の整備率		○		60.6	60.6	60.6	60.6	60.2	60.2	64.1	%	
指標の説明				・指標である幹線道路の整備率は供用開始を行った道路延長に基づき算定しており、各年度の整備率としては上がっていないが、各路線において用地取得や道路整備工事（未供用）、設計検討等を着実に進めた。しかしながら、都市計画事業認可路線が新たに追加され計画延長距離が延びたことから「幹線道路の整備率」が下がる結果となった。							当初目標値	達成年度
国道、府道を含む幹線道路の整備延長距離／計画延長距離												

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,046,333	270,013	0	656,800	0	0	119,520
2017(H29)年度	909,487	258,686	0	545,500	0	0	105,301
2018(H30)年度	1,121,258	363,211	0	667,600	0	0	90,447
2019(R1)年度	1,034,495	201,324	0	694,700	0	0	138,471

整備事業の場合の総事業費	8,028,657 千円	(建設経費	4,221,918 千円	, 用地費	3,806,739 千円)
--------------	--------------	-------	--------------	-------	---------------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		26	京阪本線連続立体交差事業	部・課	都市整備部 連続立体交差推進室
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-① 交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
との合戦略関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	京阪本線連続立体交差事業の推進		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	さらなる都市基盤整備の充実として、踏切による交通渋滞や事故を抜本的に解消し、鉄道により分断された市街地の一体化を図る京阪本線連続立体交差事業の計画的な用地取得に向けて、引き続き、民間活力も活用しながら進める。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	京阪本線連続立体交差事業については、引き続き、民間活力も活用しながら用地取得を行う。あわせて、光善寺駅周辺の地元まちづくり協議会とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進める。		
	2018(H30)年度市政運営方針	○	京阪本線連続立体交差事業については、引き続き用地取得を計画的に進める。あわせて、光善寺駅周辺においては市街地再開発準備組合とともに新たなまちづくりに取り組む。		
事業概要 (目的・内容等)			交通渋滞を緩和するとともに、安全な交通環境整えるため、枚方公園駅付近～香里園駅付近の連続立体交差化を進め、都市交通の円滑化と分断されていた市街地の一体化を図る。 概算総事業費:541億円		

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成25年度から連続立体交差課が設置され、同年12月に事業認可を取得し、平成26年度から本格的な用地測量・境界確定・用地取得業務に着手する。 また、役務委託や用地交渉委託等を活用し、効率的な用地取得業務に取り組んでいる。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・事業用地の取得			
	実績（評価）	大阪府からの配当額をもって鋭意取り組み、用地面積 3,359.33 ㎡を取得した。（総事業用地面積:約29,900㎡） H28年度末における取得総面積 6,220.93㎡ 進捗率:約21％			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績（評価）	大阪府からの配当額をもって鋭意取り組み、用地面積 5,273.82 ㎡を取得した。（総事業用地面積:約30,800㎡） H29年度末における取得総面積 11,494.75㎡ 進捗率:約37％			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績（評価）	大阪府からの配当額をもって鋭意取り組み、用地面積 2,805.89 ㎡を取得した。（総事業用地面積:約30,800㎡） H30年度末における取得総面積 14,300.64㎡ 進捗率:約47％			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	大阪府からの配当額をもって鋭意取り組み、用地面積 4813.89 m ² を取得した。（総事業用地面積：約30,800m ² ）令和元年度末における取得総面積 19114.53m ² 進捗率：約62%
備考		

課題・今後の対応	計画的に用地取得を進めるための事業費確保が必要であり、事業主体である大阪府や鉄道事業者等と連携し、引き続き、事業費確保に向けた取り組み(要望活動)を積極的に行う。 また、令和4年度の鉄道高架化工事着手を目標に準備作業を進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
京阪本線連続立体交差事業の進捗状況		○		用地取得に着手	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地買収	－
指標の説明				H26に用地取得に着手、引き続き用地取得を継続							当初目標値	達成年度
(工程管理により把握)京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業の進捗状況												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,868,062	979,128	480,663	303,604	0	87,829	16,838
2017(H29)年度	1,717,433	810,572	397,918	238,857	0	243,546	26,540
2018(H30)年度	1,816,427	929,212	456,158	273,695	0	126,951	30,411
2019(R1)年度	2,919,557	1,533,830	752,971	447,260		135,800	49,696

整備事業の場合の総事業費

54,131,525 千円	(建設経費	40,492,255 千円	，用地費	13,639,270 千円)
---------------	-------	---------------	------	-----------------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		27	京阪本線連続立体交差事業関連光善寺駅周辺まちづくり事業	部・課	都市整備部 連続立体交差推進室
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-① 交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	京阪本線連続立体交差事業の推進		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	光善寺駅周辺の新たなまちづくりに向けた事業調査に着手する。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	京阪本線連続立体交差事業については、引き続き、民間活力も活用しながら用地取得を行う。あわせて、光善寺駅周辺の地元まちづくり協議会とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進める。		
	2018(H30)年度市政運営方針	○	京阪本線連続立体交差事業については、引き続き用地取得を計画的に進める。あわせて、光善寺駅周辺においては市街地再開発準備組合とともに新たなまちづくりに取り組む。		

事業概要 (目的・内容等)	京阪光善寺駅周辺地区で、地元権利者組織が取り組まれている市街地再開発事業を前提とした新しいまちづくりの検討がより具体的になってきたことから、本市においては、市街地再開発事業の実現に向け引続き技術的支援を行うとともに、都市計画道路北中振線及び駅前交通広場と市街地再開発による施設建築物の一体的な整備を図る。 概算総事業費:114億円
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		地元権利者による光善寺駅周辺の活性化の動きにあわせて、本市は平成26年度に連続立体交差事業関連事業検討調査を行い、光善寺駅周辺地域の課題整理、まちづくり手法や土地利用計画の検討を行った。平成28年度には、市街地再開発事業を前提としたより具体的な検討調査を行い、権利者の意向を取入れた事業の基本計画や事業資金計画・権利変換計画などの作成を行い、地元権利者組織に対して技術的支援を行った。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・京阪本線連続立体交差事業関連光善寺駅西地区市街地再開発事業等調査(B調査)の実施 ・地元権利者においては、市街地再開発事業についてより具体的な検討を進めるための判断(事業化判断)を年度末に予定
	実績(評価)	・過年度に実施したA調査相当を基に、市街地再開発事業に対して、権利者の意向を取入れたより具体的な基本計画や資金計画・権利変換計画を検討するとともに事業実施に向けての課題整理と事業スケジュールの調整を行った。 ・市街地再開発事業についてより具体的な検討を進めることに9割を超える権利者が希望されたため、次年度に準備組合を設立し、引続き基本計画などの検討を進められる。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・市街地再開発準備組合への技術的支援及び市街地再開発事業等の都市計画手続きの実施 ・社会資本整備総合計画の策定をし、平成30年度の社会資本整備総合交付金の交付申請を行い、行政支援(補助金等)を行う。
	実績(評価)	・平成29年5月に光善寺駅西地区市街地再開発準備組合が設立され、再開発事業の実現に向けてより具体的な検討を進められた。 準備組合は、専門的な知識を有する事業協力者(住宅デベロッパー、総合建設会社)の募集と選定を行なった。 ・本市は準備組合の活動を支援する為、市街地再開発事業の実現に必要な都市計画手続き及び社会資本整備総合交付金の要望などの行政支援を行った。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・市街地再開発事業の基本設計等への技術的支援 ・市街地再開発組合設立に向けた認可申請手続の実施 ・平成31年度の社会資本整備総合交付金の要望し、行政支援(補助金等)を行う。
	実績(評価)	・光善寺西地区市街地再開発組合が実施した基本設計や土地評価調査等の業務において、技術的支援を行うとともに国の交付金を活用し補助金による財政的支援を行った。 ・市街地再開発組合の設立に必要な権利者同意数を満足するとともに、認可申請に向けた手続きを実施した。 ・本事業の活動を継続的に支援するため、社会資本整備総合交付金の要望などの行政支援を行った。

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	・市街地再開発事業の実施設計等への技術的支援 ・権利変換計画の策定への支援及び認可申請手続 ・令和2年度の社会資本整備総合交付金の要望し、行政支援(補助金等)を行う。
	実績(評価)	・準備組合は都市再開発法に基づき市街地再開発組合設立認可申請を行い、大阪府知事の認可を受けて光善寺駅西地区再開発組合を設立した。 ・組合が実施する権利変換計画の策定や施設建築物の設計業務などにおいて、技術的支援を行うとともに国の交付金を活用し補助金による財政的支援を行った。 ・本事業の活動を継続的に支援するため、社会資本整備総合交付金の要望などの行政支援を行った。
備考		

課題・今後の対応	①市街地再開発事業の実現に必要な一定の地元権利者の理解はを得て、組合が設立されたが、今後もより円滑な事業推進に向けて権利者等へ説明を行い理解を得ていくことが必要である。 →全ての権利者の合意形成に向けて、本市は国府とともに組合に対して財政的かつ技術的支援を行う。 ②都市計画道路北中振線及び駅前広場の整備は、連続立体交差事業の進捗とも密接に係関するため、両事業のスケジュールや補償基準などの調整が必要である。 →当室内において、事業工程や補償基準などの両事業に関わる情報を共有し、事業の推進を図る。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績 (評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
事業の進捗状況			地元まちづくり協議会の設立	事業調整	B調査の実施 権利者の合意形成	準備組合の設立 都市計画決定	基本設計等実施 組合認可手続き	組合設立認可 権利変換計画の策定等の実施	—	
指標の説明							・大阪府知事から認可を受け、組合が設立された。 ・権利変換計画の策定や施設建築物の実施設計業務等を実施した。	当初目標値	達成年度	
(工程管理により把握)京阪本線連続立体交差事業関連光善寺駅周辺まちづくり事業の進捗状況										
指標名	施策指標	指標の実績 (評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明							当初目標値	達成年度		
指標名	施策指標	指標の実績 (評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明							当初目標値	達成年度		
指標名	施策指標	指標の実績 (評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明							当初目標値	達成年度		
指標名	施策指標	指標の実績 (評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明							当初目標値	達成年度		

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	10,854	2,500	0	0	0	0	8,354
2017(H29)年度	43	0	0	0	0	0	43
2018(H30)年度	85,120	42,560	0	0	0	0	42,560
2019(R1)年度	12,680	4,585	0	4,100	0	0	3,995

整備事業の場合の総事業費	11,352,176 千円	(建設経費	10,201,399 千円	, 用地費	1,150,777 千円)
--------------	---------------	-------	---------------	-------	---------------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		29	道路施設維持管理事業	部・課	土木部　みち・みどり室
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4　安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-①　交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3　安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針				
	2017(H29)年度 市政運営方針				
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	道路利用者の安全で快適な通行を確保するため、道路施設の維持補修を行う。
------------------	-------------------------------------

取り組み状況

これまでの取り組み状況		毎年3,000件を超える要望に対応しているが、要望内容も多様化しているなか直営作業により随時に処置を行った。道路補修等については、迅速な対応により安全で快適な道路環境の維持の継続が図れた。委託事業については、当初計画分は概ね実施することができた。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・道路施設の日常管理や損傷箇所早期発見のための道路パトロールの実施 ・道路施設の維持補修
	実績（評価）	パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事（請負工事・小規模工事87件、直営作業3,488件）。 街路樹等の除草清掃委託作業（除草431件、路面清掃66線、側溝清掃等26線）
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・道路施設の日常管理や損傷箇所の早期発見のための道路パトロールの実施 ・道路施設の維持補修
	実績（評価）	パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事（請負工事・小規模工事・単価契約において92件、直営作業3,675件）。 街路樹等の除草清掃委託作業（除草431件、路面清掃66線、側溝清掃等19線）
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・道路施設の日常管理や損傷箇所の早期発見のための道路パトロールの実施 ・道路施設の維持補修
	実績（評価）	パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事（請負工事・小規模工事・単価契約において92件、直営作業3,497件）。 街路樹等の除草清掃委託作業（除草428件、路面清掃85線、側溝清掃等11線）

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・道路施設の日常管理や損傷箇所早期発見のための道路パトロールの実施 ・道路施設の維持補修
	実績（評価）	パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事（請負工事・小規模工事・単価契約において86件、直営作業3013件）。 街路樹等の除草清掃委託作業（除草440件、路面清掃85線、側溝清掃等16線）
備考		

課題・今後の対応	道路施設の維持管理については、委託業務の拡大に努め、直営業務は施設の維持管理に関する技術や経験の蓄積と継承を図る体制を検討する。 小規模な舗装補修については平成30年度より単価契約で本格運用しているが、その他補修工事（小規模構造物）についても単価契約の検討が必要。	
達成状況（実行計画）	○: 達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
パトロールや道路利用者等要望に係る補修件数			3,975	3,867	3,488	3,675	3,497	3,013	3,800	件
指標の説明								当初目標値	達成年度	
職員がパトロールにより発見した補修箇所及び利用者・自治会等からの要望を受けた補修箇所に係る補修件数										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	462,537	4,900	0	0	0	0	457,637
2017(H29)年度	479,172	8,000	0	0	0	0	471,172
2018(H30)年度	451,533	9,400	0	0	0	0	442,133
2019(R1)年度	402,579	8,000	0	0	0	0	394,579

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		30	新名神高速道路等整備促進事業	部・課	土木部 土木政策課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-② 交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面で の広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	交通渋滞は、経済損失につながり、地域経済の発展を妨げる。新名神高速道路へのアクセス道路の整備や淀川渡河橋の実現に向けた取り組みを進める。		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	新名神高速道路へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の早期完成を大阪府に働きかける。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	新名神高速道路及びアクセス道路となる内里高野道線や淀川を渡河する牧野高槻線等の早期完成を関係機関に働きかける。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化等につなげるため、新名神高速道路及びそのアクセス道路となる内里高野道線などの整備に向けて、事業者であるNEXCO西日本や国、大阪府に対し働きかけを行う。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・沿線校区コミュニティ協議会との協議のもと、事業者・府・市にて沿線地域への事業説明会及び設計説明会を実施し、市ホームページなどを活用し情報発信を行う。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・新名神高速道路の早期完成に向けてNEXCO西日本や大阪府と協議、国への要望
	実績（評価）	・新名神高速道路及びアクセス道路となる内里高野道線の早期完成に向けてNEXCO西日本や大阪府と協議を行った。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・事業者であるNEXCO西日本と、新名神高速道路の工事完成後における施設の移管並びに敷地の取り扱いについて協議を行い、「行政協議事前確認書(船橋本町地区～樋之上町地区)」を締結した。 ・本市域にかかる工事(淀川橋工事及び美濃山西工事)に着手した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・新名神高速道路の本市域にかかる工事として、淀川東高架橋(下部工)工事及び枚方工事に着手した。 ・アクセス道路となる内里高野道線の円滑な事業遂行を図るため、事業者である大阪府と「市道の一部区間引継に関する覚書」を締結した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・新名神高速道路の本市域における、淀川東高架橋(下部工)工事及び枚方工事を推進した。 ・地域との情報共有のため、事業者による住民との意見交換会や見学会を開催した。 ・アクセス道路である内里高野道線の事業を促進するため、大阪府と枚方市で情報共有を円滑に図るため「(都)内里高野道線・(都)北山通線調整会議を設置した。
備考		

課題・今後の対応	新名神高速道路については、本市にとって防災面や市内産業の活性化などに効果が期待できるが、地域への影響もあることから、地域住民の理解が得られるよう努める必要がある。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
国道1号における交通量		○		46,910 (H25)	45,841 (H26)	44,286 (H27)	44,651 (H28)	45,066 (H29)	45,788 (H30)	－	台	
指標の説明				H22の第二京阪道路の全線開通など交通ネットワークの整備進捗に伴い主要幹線の交通が分散し、H28までは国道1号の交通量は減少、その後はほぼ横ばいで推移している。							当初目標値	達成年度
国道1号における交通量(1日あたり・12時間調査)												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		31	牧野高槻線等整備促進事業	部・課	土木部 土木政策課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-② 交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	交通渋滞は、経済損失につながり、地域経済の発展を妨げる。 新名神高速道路へのアクセス道路の整備や淀川渡河橋の実現に向けた取り組みを進める。		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	淀川渡河橋については、対岸市とも連携しながら実現に向けた取り組みを進める。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	新名神高速道路及びアクセス道路となる内里高野道線や淀川を渡河する牧野高槻線等の早期完成を関係機関に働きかける。		
	2018(H30)年度市政運営方針				
事業概要 (目的・内容等)		新名神高速道路の高槻ICへのアクセス強化や市内南西部の渋滞緩和、災害時における近隣市との連携及び交流機会の拡大が期待される淀川渡河橋の整備に向けて、高槻市などとの協議を行うとともに、関係機関への要望等を行う。 平成29年度以降は、平成28年度に大阪府の都市整備中期計画(案)の個別事業として位置付けられた牧野高槻線(淀川渡河橋)の整備を促進するため、事業者である大阪府に早期完成を働きかけるとともに、大阪府と連携した取り組みを行う。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・25年度に要望における根拠資料とするため淀川渡河橋の整備効果や課題などの検証を実施する。 ・検討を基に対岸市と必要性など認識を深めるため意見交換を行い、実現に向け国・府へ働きかけを行った。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・淀川渡河橋の整備に向けた高槻市等との協議、関係機関への要望	
	実績(評価)	・高槻市と連携し、淀川渡河橋の整備に向けた関係機関への要望を実施。 ・6月に淀川渡河橋の効果的な位置については都市計画道路牧野高槻線が最適との方針が国と大阪府において確認され、8月に大阪府の都市整備中期計画(案)に牧野高槻線など関連道路が事業箇所として位置づけられた。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績(評価)	・大阪府において、牧野高槻線及び関連道路の平成30年度末の都市計画変更に向けた検討及び関係機関との協議が進められた。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績(評価)	・大阪府において、牧野高槻線及び関連道路の都市計画が平成31年2月に変更され、本市においては、整備促進に向けて、周辺道路(市道)の将来交通量推計等の調査に着手した。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・事業促進に向けた周辺道路の影響調査を実施し、今後の方針等、結果をまとめた。 ・大阪府による建設事業評価において事業実施が決定された。 ・大阪府・枚方市による「牧野高槻線及び京都守口線に係る連絡調整会議」を設置し、連携体制を構築した。
備考		

課題・今後の対応	枚方市域における都市計画道路牧野高槻線等の整備に関する覚書に基づき、京都守口線の用地取得に関する実施協定を締結する他、牧野高槻線の整備に伴う必要な対策について大阪府と連携した取り組みを進める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	10,021	0	0	0	0	0	10,021

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		32	自転車通行空間・歩行空間整備事業	部・課	土木部 交通対策課 道路河川整備課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-③ 日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。		
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	通学路の安全確保を図るため、平成28年度中の完成に向け、中宮第2号線の拡幅工事を進める。市内主要駅と周辺の公共施設における自転車通行空間の整備に向けた検討を行う。		
	2017(H29)年度 市政運営方針	○	歩行者、自転車双方の安全で快適な通行環境が確保されるよう、自転車ネットワーク計画を策定し、実施設計に着手する。 通学路の安全確保を図るため、中宮第2号線の拡幅工事などを実施する。		
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>安全な自転車通行空間の確保を図るため、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」(国土交通省・警察庁策定)に基づき、本市においては「安全で快適な自転車利用環境創出に向けた基本的な考え方」を取りまとめ、現在、各都市計画道路整備事業にあわせて自転車通行空間の整備に取り組んでいる。</p> <p>【拡充(平成28年度当初)】</p> <p>今後はさらに、連続性を持たせたネットワーク化を図るため、市内主要駅(枚方市駅、樟葉駅、長尾駅)において、鉄道駅へのアクセス性を中心に、公共施設等、拠点となる施設を結ぶ自転車通行空間のネットワーク化を図る路線を選定し、整備を行う。</p> <p>(整備優先順位:枚方市駅→樟葉駅→長尾駅)</p> <p>＜歩行空間整備＞</p> <p>幹線道路整備にあわせて歩行空間の整備を進めるとともに、生活道路において安全な歩行空間の確保を図るため、緊急性・必要性を考慮しながら歩道設置等を行い、交通安全対策を図る。</p>				

取り組み状況

これまでの取り組み状況		<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>平成25年3月 「安全で快適な自転車利用環境創出に向けた基本的な考え方」を策定(土木部内でプロジェクトチームを組織し策定)</p> <p>平成26～27年度 幹線道路の整備事業にあわせた自転車通行空間の整備に係る調整</p> <p>＜歩行空間整備＞</p> <p>①中宮第2号線:用地交渉、用地再取得(公社)、道路整備工事</p> <p>②交通バリアフリー(藤阪駅周辺)、阪八幡線:道路整備工事</p> <p>③踏切拡幅:詳細設計、用地交渉、道路整備工事、踏切拡幅工事</p>
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>①幹線道路整備事業とあわせた自転車通行空間の整備</p> <p>【拡充(平成28年度当初)】</p> <p>②主要鉄道駅周辺における自転車通行空間整備に係る整備計画を策定し、関係機関との協議が整った路線より実施設計</p> <p>＜歩行空間整備＞</p> <p>①中宮第2号線:用地交渉、用地再取得(公社)、道路整備工事</p> <p>②交通バリアフリー(藤阪駅周辺)、阪八幡線:道路整備工事</p> <p>③踏切拡幅:詳細設計、用地交渉、道路整備工事、踏切拡幅工事</p>
	実績(評価)	<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>(仮称)枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画(案)をまとめた。</p> <p>＜歩行空間整備＞</p> <p>①中宮第2号線:用地交渉、用地再取得(公社)、道路整備工事</p> <p>②交通バリアフリー(藤阪駅周辺)、阪八幡線:道路整備工事</p> <p>③踏切拡幅:用地交渉、道路整備工事、踏切拡幅工事</p>
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>①→推進</p> <p>【拡充(平成28年度当初)】</p> <p>②整備計画に基づき、実施設計を進めるとともに自転車通行空間整備事業の実施</p>
	(評価実績)	<p>＜自転車通行空間整備＞</p> <p>枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画を策定した。</p>

2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	<自転車通行空間整備> ①→推進 【拡充(平成28年度当初)】 ②整備計画に基づき、実施設計を進めるとともに自転車通行空間整備事業の実施 <歩行空間整備> ①→推進 ②→バリアフリー工事の推進
	(実績)	<自転車通行空間整備工事> 甲斐田三栗線、甲斐田三栗第2号線、渚中宮線、枚方藤阪第2号線 <歩行空間整備> 磯島北町第1号線
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	<自転車通行空間整備> ①→推進 【拡充(平成28年度当初)】 ②整備計画に基づき、自転車通行空間整備事業の実施 <歩行空間整備> ①→推進 ②→バリアフリー工事の推進
	(実績)	<自転車通行空間整備工事> ・楠葉地区の実施設計を進めるとともに枚方藤阪線、長尾船橋線の整備工事を実施。 ・枚方市自転車活用推進計画を策定。 <歩行空間整備> ・春日大峯線交差点拡幅工事、津田第1号線歩道拡幅工事を実施。 ・宮之阪駅周辺地区(禁野第3号線・宮之阪第13号線)のバリアフリー実施設計を進めるとともに御殿山駅周辺地区(御殿山駅前ロータリー)のバリアフリー整備工事を実施。
備考		

課題・今後の対応	年々、国費(社会資本整備総合交付金)の内示率低下により財源の確保が厳しい状況であるが、引き続き、補助金申請を行うとともに効率的・効果的な事業展開を進める。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
自転車の事故			418	369	349	328	312	288	－	件	
指標の説明			継続した自転車の安全運転啓発活動と合わせ自転車通行空間の整備（H29～）を進め、自転車事故件数の更なる減少をめざす。現在は事故件数が減少傾向にある。							当初目標値	達成年度
市域における自転車の事故件数の推移											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
自転車通行空間の整備延長			0	0	0	0	2.5	3.25	10	km	
指標の説明			H29年度前期に策定した「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」に基づき、H30年度より工事に着手し、整備が進んでいる。計画延長の合計(32.6km)に対する整備延長の合計(3.25km)の割合は約10％である。							当初目標値	達成年度
市道における自転車通行空間整備延長の推移											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
歩道の設置延長距離	○		114.7	116.6	116.6	116.6	117.1	117.3	118	km	
指標の説明			都市計画道路の整備や現道の歩道整備を実施し、整備が進んでいる。							当初目標値	達成年度
市道における歩道設置延長距離										116	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
交通事故件数（車両）	○		1,760	1,601	1,584	1,500	1,340	1188	－	件	
指標の説明			継続した道路の安全対策と交通安全啓発事業を進めており、交通事故件数は減少傾向にある。							当初目標値	達成年度
市内で発生した車両が関わる交通事故件数											

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	193,749	43,332	0	135,375	0	0	15,042
2017(H29)年度	4,449	0	0	4,000	0	0	449
2018(H30)年度	59,145	21,518	0	15,700	0	0	21,927
2019(R1)年度	55,850	24,724	0	20,500	0	0	10,626

整備事業の場合の総事業費	412,477 千円	(建設経費	329,477 千円	, 用地費	83,000 千円)
--------------	------------	-------	------------	-------	-----------	---

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		33	歩道フラット化整備事業	部・課	土木部 道路河川整備課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
	取り組みの方向		4-③ 日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。		
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 安全で快適な交通環境が整うまち		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		3 安全で快適な交通環境が整うまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	・高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進 ・施設の老朽化に伴う安全性の確保 ・通学路の安全性の確保		
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	引き続き藤阪駅周辺の歩道のバリアフリー化工事を進める。あわせて、傾斜が大きい歩道の改良に向けた検討を行う。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	古い基準で整備されたマウンドアップ形式歩道の中には、「傾きがきつい」、「段差・凹凸がある」といった問題を抱えている箇所が点在している。今後、ますます加速する超高齢化社会の到来により、その対策が喫緊の課題となっている。 本事業では既に整備された歩道のうち、歩道改良が可能で整備効果が高い路線を選定し、整備計画を作成した後、歩道フラット化整備工事を行うことによって、だれもが安全で安心して円滑に移動できる歩行空間が確保される。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成29年度新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績（評価）		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	＜歩道フラット化整備＞ 整備計画に基づき、実施設計を進めるとともに歩道フラット化整備事業の実施 ○長尾船橋線（平成29～32年度） ○中宮第33・34号線 他6路線（時期未定）	
	実績（評価）	＜歩道フラット化整備＞ 長尾船橋線 → H29年度：実施設計（L=0.65km）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	＜歩道フラット化整備＞ 長尾船橋線 → H30・R1年度（債務負担）：道路整備工事着手（L=0.35km） 中宮区第33・34工区 → 実施設計（L=0.65km）	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	＜歩道フラット化整備＞ ・H30・R1年度（債務負担）により長尾船橋線道路空間再配分整備工事を実施。（L=0.35km） ・効率的な事業を進めるため、同時期に道路リフレッシュ整備事業（L=0.35km）と自転車通行空間整備工事（L=0.25km）を実施。また、当該工事に並行して上水道局にて鉛管改良工事を実施。
備考		

課題・今後の対応	年々、国費（社会資本整備総合交付金）の内示率低下により財源の確保が厳しい状況であるが、引き続き、補助金申請を行いながら着実に事業を進める。	
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
歩道フラット化整備率			-	-	-	0	1	10	10	%
指標の説明								当初目標値	達成年度	
フラット化整備工事が必要となる道路の整備率										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	1,080	0	0	0	0	0	1,080
2018(H30)年度	16,560	4,500	0	3,300	0	0	8,760
2019(R1)年度	92,788	34,560	0	45,300	0	2,297	10,631

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費	0 千円	，用地費	0 千円	）
--------------	------	-------	------	------	------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		34	交通安全啓発事業	部・課	土木部 交通対策課
総合計画との関係	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	4 安全で快適な交通環境が整うまち			
	取り組みの方向	4-③ 日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。			
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係	4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる			
総合関係	基本目標	1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標	3 安全で快適な交通環境が整うまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針	○	子どもたちの交通事故防止を図るための取り組みとして、全小中学校で自転車の交通安全教室を実施するとともに、特に中学校においては、昨年試行的に実施したスケアードストリート交通安全教室を引き続き実施する。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	子どもたちの交通事故防止を図るため、民間活力を活用しながら、全小学校で自転車・歩行の交通安全教室を行うとともに、中学校ではプロのスタントマンによるスケアードストリート交通安全教室を実施する。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	交通安全のための各種交通安全啓発活動を行うことで市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させ、安全な交通社会を実現する。 【拡充(平成28年度当初)】 子どもの交通安全教室(自転車教室32校、歩行教室14校:H26年度実績)を民間へ委託し、全45小学校において自転車・歩行の安全教室を実施する。また、スケアードストリート交通安全教室の事業化等の整備検討を行う。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況	子どもたちの交通事故防止を図るための取り組みとして、市内小学校を対象とした交通安全教室(自転車教室35校、歩行教室16校:H27年度実績)を実施している。今後は、全45小学校において交通安全教室を実施するため、平成28年度は自転車交通安全教室を民間へ委託する。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・春、秋の全国交通安全運動、交通安全市民大会の開催 ・交通安全運転講習会の実施 ・高齢者自転車教室の実施 ・放置自転車等の指導・警告・移送 【拡充(平成28年度当初)】 ①小学生等を対象にした子どもの交通安全教室の民間委託による自転車教室(45校)の実施 ②スケアードストリート交通安全教室を中学校1、2校で試行開催、効果検証
	実績(評価)	①小学生を対象にした子どもの交通安全教室(自転車)を民間委託により、45校で実施した。 ②スケアードストリート交通安全教室を中学校2校で試行開催し、効果検証を行った。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 【拡充(平成28年度当初)】 ①自転車教室(45校)、歩行教室(22校)の実施 ②スケアードストリート交通安全教室を中学校1、2校で試行開催、効果検証
	実績(評価)	①自転車教室に引き続き、歩行教室においても民間業務委託を市立小学校全45校で実施した。 ②スケアードストリート交通安全教室を中学校3校で試行開催し、効果検証を行った結果、平成30年度より本格実施とした。(3ヶ年で全市立中学校)
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進 【拡充(平成28年度当初)】 ①自転車教室(45校)、歩行教室(30校)の実施 【拡充(平成30年度当初)】 ①スケアードストリート自転車交通安全教室を実施 ②高齢者団体等を対象にした高齢者交通安全教室の試行実施
	実績(評価)	①市立小学校全45校において、自転車教室及び歩行教室を民間業務委託し、実施した。 ①スケアードストリート自転車交通安全教室を民間委託し中学校6校で実施した。 ②高齢者交通安全教室を高齢者団体等の8団体に試行実施した。

2019(R1)年度 の取り組み	予 定 ・ 目 標	→推進 【拡充(平成28年度当初)】 ①自転車教室(45校)、歩行教室(30校)の実施 【拡充(平成30年度当初)】 ①スケアードストレート自転車交通安全教室を実施 ②高齢者団体等を対象にした高齢者交通安全教室の試行実施
	実 績 (評 価)	①市立小学校45校で、自転車及び歩行教室を民間業務委託で実施した。 ①スケアードストレート自転車交通安全教室を民間業務委託し、市立中学校5校で実施した。また、演目等について、教育委員会と確認調整を図り、実施演目を減らして実施した。 ②高齢者交通安全教室を高齢者団体等の7団体で実施した。
備考		

課題・今後の対応	・中学校でのスケアードストレート自転車交通安全教室について、他市での同教室の事故を踏まえ、教育委員会と演目の変更等の調整をする必要がある。 ・高齢者を対象とした交通安全教室については、今後も希望される高齢者団体からの要望に基づき実施する。	
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
交通事故件数(歩行者・自転車)	○		597	548	517	489	450	416	-	件	
指標の説明			市内で発生した交通事故件数は減少傾向にあり、歩行者や自転車が関わる交通事故件数も着実に減少している。 今後も交通事故件数について前年減を目指している。							当初目標値	達成年度
市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	○		19,149	20,788	22,848	24,597	23,411	20,808	20,000	人	
指標の説明			交通安全教室を多方面で実施し、目標値を上回っている。							当初目標値	達成年度
自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	75,077	0	0	0	0	0	75,077
2017(H29)年度	78,765	0	0	0	0	0	78,765
2018(H30)年度	78,588	0	0	0	0	0	78,588
2019(R1)年度	82,237						82,237

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------